

部長新任のご挨拶

脳神経外科 部長
菱川 朋人 (ひしかわ ともひと)



2023年4月1日付けで川崎医科大学脳神経外科学1教室主任教授ならびに同附属病院脳神経外科部長を拜命致しましたので、謹んでご挨拶申し上げます。

私は1998年に岡山大学医学部を卒業後、岡山大学脳神経外科に入局を致しました。関連病院での研修を終えた後にくも膜下出血後脳血管攣縮に関する基礎研究で学位を取得致しました。2004年からは国立循環器病センター（現：国立循環器病研究センター）に赴任し脳卒中中の外科の技術研修と臨床研究に従事致しました。2008年から現在まで15年間、岡山大学で脳血管障害に専従し、脳血管内治療指導医と脳卒中中の外科指導医の2つの資格を有するいわゆる二刀流術者として脳動脈瘤、もやもや病、血管奇形、内頸動脈狭窄症、急性期脳主幹動脈閉塞症などの血管障害の外科治療を担当して参りました。

岡山県の脳卒中急性期治療の課題として血栓回収療法の不均衡と脳卒中専門医数が少ないことが挙げられます。川崎医科大学附属病院は脳卒中治療の中心的施設として脳卒中治療の均霑化と更なる充実を目指したいと思います。もやもや病は私が長年、診療ならびに研究で従事して参りましたライフワークとなる疾患であります。もやもや病は難病かつ希少疾患で症例数が少ない、手術・周術期管理の難易度が高い、小児では医療と教育のバランスが必要、妊娠出産を経験することが多いなど特殊性の高い疾患で専門性が必要となる疾患であり、川崎医科大学附属病院におきましても継続してもやもや病診療を行っていきたいと思います。

脳卒中治療では予防、急性期治療、リハビリ、在宅支援、家族支援などのシームレスな連携が重要視されております。川崎医科大学附属病院脳神経外科は地域の医療機関の皆様としっかりと連携させて頂き充実した脳神経外科診療を目指したいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

医師の動き

<新任医師>

2023年4月1日付	脳神経外科	菱川 朋人	(ひしかわ ともひと)	部長
	検査診断学(病態解析)	北中 明	(きたなか あきら)	部長
	病理学	塩見 達志	(しおみ たつし)	副部長
	脳神経内科	梶山 裕太	(かじやま ゆうた)	医長
	消化器外科	兼定 航	(かねさだ こう)	医長
	乳腺甲状腺外科	岩本 高行	(いわもと たかゆき)	医長
	泌尿器科	平田 啓太	(ひらた けいた)	医長

<川崎医科大学総合医療センターへ移籍>

2023年4月1日付	腎臓内科	角谷 裕之	(かどや ひろゆき)	副部長
	腎臓内科	山本 稔也	(やまもと としや)	医長
	放射線科(核医学診療)	小野 由美香	(おの ゆみか)	医長



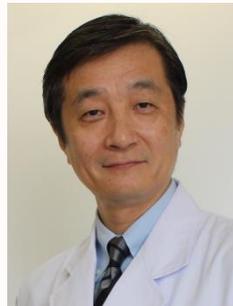
部長新任のご挨拶

中央検査部 部長 北中 明 (きたなか あきら)

2023年4月1日付けで川崎医科大学検査診断学（病態解析）主任教授ならびに同附属病院中央検査部部長を拝命いたしました。これまで川崎医科大学総合医療センター在任時より大変お世話になっておりますが、このたびの着任に際しまして謹んでご挨拶を申し上げます。

私は1990年に香川医科大学（現香川大学医学部）を卒業し、同第一内科で造血管腫瘍を主な対象とした研修を行いました。1994年から3年間、米国テネシー州のSt. Jude小児研究病院で博士研究員として急性白血病に関する研究を行い、帰国後は母校と関連施設を中心に血液領域の修練を積んで参りました。2001年に香川大学医学部臨床検査医学講座に採用されたことから、本格的に臨床検査分野の診療、教育、研究に従事することになりました。2011年から5年間は宮崎大学第2内科に所属し、あらためて血液内科医としての診療活動を行いました。その後、2016年に川崎医科大学検査診断学に異動し、2018年より川崎医科大学総合医療センター中央検査部部長をつとめ、現在に至っています。私は、内科医と臨床検査医の立場を交互に繰り返して経験することによって、臨床の場で真に必要とされる検査を的確に提供することの重要性を心に刻んできました。

川崎医科大学附属病院では臨床検査機能をより充実させ、連携いただく医療機関の皆様からご紹介いただいた患者様に、正しい知識・技術に基づいた最適かつ安全な検査を提供できるよう努めます。関係各所の皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうかよろしくお願い申し上げます。



ホットラインのご案内

※ 緊急時には医師が直接対応します。ご利用下さい。



循環器内科ホットライン 086-464-1078

循環器内科医師が直接対応します。心臓疾患の救急患者の紹介、循環器系症例の相談、心電図の読影等にご利用下さい。

脳卒中ホットライン 086-464-1545

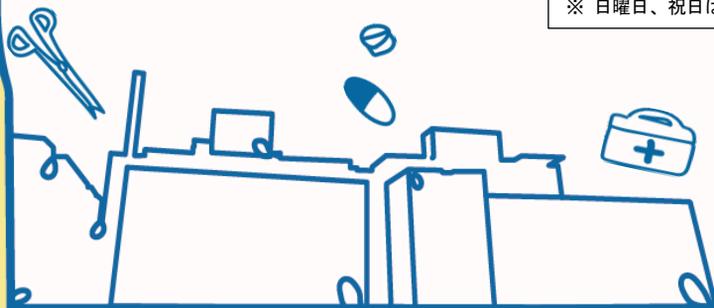
緊急時に、脳卒中科医師が直接対応します。
(日中は脳卒中科医師、夜間、日曜、祝日は脳神経担当医が対応します)

血液内科専門医直通相談窓口 086-464-1544

分かりにくい血液検査データの解釈や、紹介すべきどうかの判断が迷う場合等、地域の病院、クリニックの先生方からの患者相談に、血液内科専門医が直接対応させていただきます。

対応時間：月曜日～金曜日 9:00～12:00
13:30～15:00
土曜日 9:00～11:00

※ 日曜日、祝日は対応ができませんのでご了承ください。



部長新任のご挨拶

循環器内科 部長 根石 陽二 (ねいし ようじ)

2023年4月1日付けで川崎医科大学循環器内科学教授（定員外）ならびに同附属病院循環器内科部長を拝命しましたので、謹んでご挨拶申し上げます。私は1996年に川崎医科大学を卒業後、川崎医科大学附属病院内科研修医を経て、1999年から川崎医科大学附属病院循環器内科に入局いたしました。以降、川崎医科大学大学院4年と他病院に2年勤務した以外は、川崎医科大学附属病院循環器内科で医局員と切磋琢磨しながら日々の診療を行い自分なりに成長してきました。2006年に川崎医科大学附属病院循環器内科医長、2016年からは川崎医科大学附属病院循環器内科副部長となり、主には虚血性心疾患に対するPCI治療や不整脈および心不全に対するペースメーカーなどの植え込みデバイス治療を継続して施行し、若手医師への指導も行っております。近年では、2021年11月から重症大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）を心臓血管外科や麻酔科など他職種で構成されたHeart Teamで協力して行っております。また、集中治療室で重症心不全や急性心筋梗塞に対してPCPS・ImpellaやIABPなどの補助循環を積極的に行い治療しております。

これまででも本当には大変お世話になっております。今後も引き続き、初心を忘れず県内施設との病病連携・病診連携を深め、スムーズな重症循環器疾患の受け入れを行い迅速かつ臨機応変な診療体制を継続できるように努力いたします。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



オンライン予約受付中

ご利用にはアカウント登録が必要となります。
川崎医科大学総合医療センター(岡山市)のご利用も同時に可能となります。
※ ご不明な点は地域医療連携室までお問い合わせください。

対象診療科 (先行10診療科から2023年度には拡大予定)

循環器内科/腎臓内科/泌尿器科/脳神経内科/産婦人科/乳腺甲状腺外科/
消化器内科/耳鼻咽喉・頭頸部外科/整形外科/放射線科(画像診断)

対象検査

CT、MRI

より円滑な診察を行うため、紹介状の事前FAXにご協力をお願いします。

※画像データがある場合は、診察日より数日前に当院宛に画像データ(CD-R,DVD-R等)をお送りいただくようお願いします。



川崎医科大学附属病院 地域医療連携室
〒701-0192 倉敷市松島577

TEL : 086-464-1567

FAX : 086-464-1166

MAIL : renkei@med.kawasaki-m.ac.jp